

3月の園だより

令和5年2月24日発行
社会福祉法人 作陽保育園

心のページ

「ガツ石松の一生を決めた父の一言」

73才の今も、俳優として、タレントとして活躍している
ガツ石松の少年時代の話である。

ガツ石松（本名鈴木）は貧しい家に育った。父は、弱い
身体のため近所の農家の手伝いをし、母が工事現場で働き、
その日当で6人家族は暮らしていた。農繁期には農家の子守
をし、1日5円ほどの駄賃をもらっていた。小学生の頃より、
けんかの強い鈴木は、ガキ大将になり、いたずらましたが、
よその家のものを盗んだり、弱い者いじめや、手下から金を
まきあげるようなことは決してしなかった。

中学生の時、手下の中学生が警察に補導され、「金を持って
いかないと鈴木に殴られるから」と嘘をつくようなことが
たびたび起きた。警察は、あいつならやりかねないと嘘の供
述を信じ、家裁送致になった。鈴木父子は、家裁に呼び出さ
れた。鈴木は、身に憶えのない罪状は一切認めなかった。嘘
の供述を信じこんでいた判事は、強情者と見て鈴木を責め
た。

そのとき父は、「この子は、本当は家族思いのいい子な
です。二度とこのようなことはさせませんので、どうか穩便
な処置を」と頭を机にこすりつけ懇願した。少年院送りはな
しになった。その帰途、父がしみじみ言った。「お前は、世
間で言われているような悪い人間ではない。そのことは父ち
ゃんが一番分かっている」。やけになって、ぐれてしまうかも
知れない自分を、父ちゃんは、信じていてくれたんだと思
うと、ぐっとこみあげるものがあり、父だけには心配をかけ
ないような人間になるぞと心にちかった。

木々の芽がふくらみ、春の訪れを感じられるようになりました。今年度も早いもので残すところ、あと1ヶ月となりました。

新型コロナウイルス感染症への対応では、体験活動の縮小や中止など残念な事もあり、保護者の皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしました。ご協力をいただき、本当にありがとうございました。そのような中でも、子どもたちは、様々な経験・体験を通じて、心と身体がひとまわりもふたまわりも大きく成長し、次の進級・進学へと期待で胸を膨らませています。残りの日々も充実し、楽しい思い出がたくさんできるように過ごしていきたいと思います。

作品持ち帰りについて

一年間、子どもたちが経験したことや楽しかったことなどを描いた絵や、思いを込めて製作した作品をまとめた思い出集を持ち帰ります。

どの作品も、子どもたちの大切な思い出がつまった貴重な宝物です。また、成長の記録でもありますので、大切に保管してあげて下さいね！

連絡帳をつづっています

一年間、連絡帳を活用させていただき、お子様のお家の生活の様子や、園での様子を伝え合うことができました。お忙しい中、ご記入いただきありがとうございました。

今年度の連絡帳をつづってお返しいたしますので、育児日記の代わりとして、お子様の成長を振り返ってみてくださいね。

お知らせ

☆4月1日(土)に入園・進級式を行います。2部に分かれて入れ替えで行なう予定です。全園児親子で出席をお願いします。詳細は後日文書連絡いたします。

第70回卒園式について

3月25日(土)の卒園式では白組24名の子どもたちが卒立っていきます。白組園児と保護者の方々、在園児代表として緑組園児、職員が参加します。心を込めて、門出をお祝いしたいと思います。
☆黄・桃・赤・りんご組はお休みとさせていただきます。お忙しい時ではありますが、よろしくお願ひします。

お茶会について

白組さんは3月13日(月)に保護者をお招きしてのお茶会を計画しています。

本田宗美先生に教えていただき、この一年間がんばって取り組んできた茶道のお手前を保護者の皆様にご披露いたします。自分たちで作った抹茶茶碗にお茶を点て、保護者の方に飲んでいただきます。

美味しいお茶と子どもたちががんばる姿を楽しみにして下さいね。

小学生が遊びに来ます

卒園児の同窓会で、小学校1・2年生が保育園に遊びに来ます。久しぶりに会うお友だちや先生たちと、保育園での思い出を話したいと思います。

3月うまれのおともだち